

令和3年度 第1回三条市包括ケア推進会議
生活支援・介護予防検討部会 会議録

1 日 時 令和3年8月4日（水）午後7時から8時45分まで

2 会 場 三条市役所 第二庁舎 301 会議室

3 出席状況

(1) 出席委員

坪井委員、渡辺(和)委員、横山委員、高頭委員、坂西委員、吉澤委員、
佐藤委員、本間委員、小柳委員、石附委員、加藤委員、渡辺(淳)委員、
野島委員、米山委員、長谷川委員

(2) オブザーバー

指定通所リハビリテーション富永草野 南雲理学療法士
地域包括支援センター嵐南 佐藤センター長
セカンドライフ応援ステーション 石黒コーディネーター

(3) 生活支援コーディネーター

栗林コーディネーター(嵐北)、阿部コーディネーター(嵐南)、
松平コーディネーター(東)、小越コーディネーター(栄)、
若桑コーディネーター(下田)

(4) 市関係部局

福祉課障がい支援係 鈴木係長

(5) 事務局

地域包括ケア総合推進センター 郷センター長、長田次長、渡邊主査、草野主任
高齢介護課 村上課長、永井係長、榎本係長、本間主任、長谷川主事

4 議題

(1) 令和3年度 包括ケア推進会議の運営体制について

資料1に基づき説明

(2) 部会長の指名について

資料2に基づき説明、石附委員を部会長に指名

(質疑)

横山委員 第5条では互選となっているが、部会長を事務局からの指名したのはなぜか。

事務局 部会長の指名については、三条市包括ケア推進会議要綱 第

8条第3項「部会等に部会長等を一人置き、市長の指名により定める」という規定に基づいている。

(3) 令和3年度 生活支援体制の整備について

資料4に基づき説明

(質疑)

- 米山委員 地域の集いの場などでは、人手とお金が必要となるが、予算はついているのか。それとも自治会の予算で賄ってほしいということなのか。
- 事務局 ボランティアという形になる。地域の皆さまで地域を支えていくところを応援したいと考えている。
- 米山委員 地域でボランティアとして行うとしても、飲み物など全てお金が掛かる。それを地域で負担するのは、地域としては非常に迷惑なことだと思う。何かいい方法はないか。
- 若桑コーディネーター 三条市社会福祉協議会で、ふれあいいいききサロンの立ち上げの支援を行っており、活動の資金の一部を助成している。不便があれば、協議会に相談いただきたい。
- 石附部会長 社会福祉協議会でサロンの立ち上げのほか、集いの場の立ち上げの助成金制度もあるため、ぜひ相談いただきたい。
- 坪井委員 「4 本市における生活支援コーディネーター(圏域別)の取組」とは、今まで行ってきたことを改めて提示し、評価していくのか、それとも全く新しいことを始めていくのか。
- 事務局 今までは、セカンドライフ応援ステーションの生活支援コーディネーターが市内全域を一人で担当しており、それでは対応が追い付かないとの話をしていた。包括支援センターの高齢者総合相談窓口が市内に5か所あるため、各包括支援センターにコーディネーターを配置していただいた。取組としては、今までと変わらず手厚くしていきたい。
- 石附部会長 生活支援となると、生活支援コーディネーターの役割がどんどん大きくなると思うが、コーディネーターの皆さんから、今の取組状況と課題等をお話しいただきたい。
- 栗林コーディネーター 生活支援コーディネーターの業務として、集いの場の立ち上げ支援、継続支援や三条市見守り訪問事業のマッチング業

務等があるが、今年度は特に積極的に活動していきたいと思っている。顔合わせとして、地域の顔である自治会長や民生委員の方々を訪問し、地域の実情や課題、社会資源、担い手の発掘をすると同時に、生活支援コーディネーターという名前が地域に少しでも浸透していくように地域を回らせてもらっている。

阿部コーディネーター　私も栗林コーディネーター同様、地域を訪問している。自治会長や民生委員の方々の御自宅を訪問して話を聞く機会がこれまではほとんどなかったが、訪問する中で、地域の見守り体制のことや、対話が必要な場面に携わる人材がいないなど、今まで見えてこなかった細かな課題が見えてきた。今後、コーディネーターがどのようにそれらの課題を支援につなげていくか、まだ分からないが、皆さんの話を伺いながら解決していきたいと思っている。

松平コーディネーター　自治会長や民生委員への顔出しがなかなか進んでいない状況にあるが、地域の高齢者を気に掛けているところが多いと感じている。しかし、どんなことをしているかよく分からない孤立しがちな御家庭もある。まだ達成できていない現状にあるが、少しでも孤立を防ぐための取組や、そのような御家庭を気に掛けていただくために、住民意識を啓発したいと思っている。

小越コーディネーター　現在、39 地区ある栄地区のうち、28 地区を回ることができている。自治会長や民生委員との顔つなぎや、啓発活動に力を入れている。地域の状況を教えてもらおうと、困っていることはないとの話を多く聞くが、聞き取りを進めるうちに困り事と思われることも聞くため、何度か地域に入ることによって現状を把握したいと思っている。地域包括支援センターを知らない自治会長も多く、電話を掛けると「いません。うちは大丈夫です。」と、押し売りや怪しむような返答をされることもあるが、私たちから地域に伺い、包括支援センターの活動を知る機会になればと思っている。自分たちからその機会を作り、地域になじめるコーディネーターとして活動したい。

若桑コーディネーター 下田地区は、人とのつながりが残る地域だと思っている。普段から支え合いの活動をしており、人とつながるための工夫や知恵があると感じている。また、そうした活動の見える化を進めたいと思っている。そのために、地域の活動に合わせて積極的に地域に入り、今ある社会資源を把握することが重要だと思っている。

横山委員 生活支援コーディネーターの皆さんの話をお聞きし、質問したい。資料4の4ページ《業務内容の整理》にある「地域の支え合い体制づくり等の支援」の項目にある「見守り体制の構築」だが、現在のシステムとは別に作っていくのか。それとも現在のシステムに足していくのか。皆さんの話を聞き、今までのものに足していくことだと理解するが、例えば下田地区あるいは栄地区、旧三条地区のまちなかで、同じ三条市でもマンパワーの違いがある。その違いを感じているのか。また、そうした課題を解決すべきと思っているのか。

二つ目の質問は、同ページの「集いの場の実態把握」だが、集いの場について、第8期の計画では公民館などを使用するとあり、他に記載がないが、自宅近くなど、遠くまで行かなくても良いシステムづくりを考えているのか。

石黒オブザーバー 昨年度まで生活支援コーディネーターとして5圏域を回っていたが、介護予防事業で最も言われている「自分の力で歩いて行けるところに」を基本的な基準として集いの場を立ち上げてきた。現在はコロナ禍であり、大勢で集まることはできないが、生活支援コーディネーターとともに集いの場を立ち上げている。下田・栄地区のように、自治会に集会場がある地区は良いが、旧三条地区の中には集会所がない地区もあるため、公共施設をいかに利用するかが重要となってくる。南四日町では企業のロビーを貸していただくなど、企業に協力を依頼するケースもあった。できるだけ身近な場所への立ち上げを考えているが、下田・栄地区と旧三条地区では状況が少し異なっている。

長谷川委員 高齢化社会が進む中で、こういった方向性は地域において

大切になるが、核家族化の進展により異なる状況も出ている。

もう一つ課題となっているのが、新型コロナウイルスにより活動が停滞しており、この機会に活動を取りやめることがあるのではないかと警戒している。この状況をどのように打破していくかが問題である。

(4) 令和3年度 自立支援・重度化防止及び介護予防推進の取組について
資料5に基づき説明

(質疑)

石附部会長 南雲オブザーバーには、三条市の様々な介護事業に協力いただいているが、現状を見て感じたことなどあれば、お話しいただきたい。

南雲オブザーバー 地域によって様々な特性があるが、旧三条地区と栄地区、下田地区の各地区で工夫しながら集いの場の取組を進めていると思う。意識の高い方は、集いの場に参加しており、それなりの効果が得られると思うが、参加していない方は、地域との接点が薄まっていると考えられるため、そういった方を今後どのように連れてくるかが課題であると感じている。

石附部会長 高頭委員からは、小千谷市などで行っていた介護予防事業についてお話しいただきたい。

高頭委員 フレイルの状態で年齢が増すと、活動量が低くなるため、要支援1、2の方々が非常に多い傾向にある。新潟県では、約64%が生活不活発からの廃用症候群が原因で、要支援1、2の援助を受けている方が多い。また、社会参加の機会を失うと寝たきりになると言われているため、高齢者が自立して生活できるようにすることがリハ職の役割だと思う。

小千谷市では、中越地震の後に立ち上げた集いの場がうつや認知症の予防に対して非常に有効だった。しかし、身近なところに通う場所がない方は、次第に運動量が少なくなり、弱ってしまうことが課題となっており、三条市でもそこが課題になると思う。

また、市の事業に携わる中で、自立できる方が多いのではないかと感じている。ケアマネジャーと情報共有しながら、

どういった方々が自立できるのかを一緒に考えていきたい。
また、身近な生活支援の部分でも協力できればと考えている。

石附部会長

ケアマネジャーの立場から、フレイル予防や介護予防の現状を佐藤委員にお話しいただきたい。

佐藤委員

デイサービスで要支援に下がる場合もあるが、そういった方々が集いの場へ行くきっかけがないのが現状ではないかと感じている。また、田島いきいきセンターでは、介護施設には絶対に行かないと言い、10年間通っていた方もいたが、なぜいきいきセンターがなくなったのかと思っている。

処遇改善加算については、事業所が搾取することなく、個人に渡すよう配慮いただかないと、ケアマネジャーの自己研鑽には、つながらないのではないかと思います。

石附部会長

今、答えられないかもしれないが、ケアマネジャーに還元しない事業所もあると考えられるため、私個人としてもケアマネジャーの処遇改善につながる方法を取ってほしい。

事務局

重度化防止に係る取組の制度設計については、これから詰めていくため、今の御意見も踏まえて考えていきたい。

渡辺(和)委員

三条市歯科医師会の取組として、口腔ケア向上事業を紹介したい。数年前に当時の國定市長と三条市歯科医師会で協議し、全国初の取組として口腔ケア向上事業を行ってきた。研究によって、オーラルフレイルが全身のフレイルにつながる事が分かっており、奥歯で食べないと、脳に血流が行きにくくなり、認知症を発症しやすくなるという例もある。人と楽しみながら外で食事ができないため、引きこもってしまうなど、口腔の状態が全身の健康や社会性の問題にもつながる。

そのため、ケアマネジャーから担当する方の口腔内の状態を見てもらい、検診が必要な方に強く受診を促していくことが重要だと思う。将来的には、口腔に関する簡単な知識をケアマネジャーと一緒に学んでいけるようにしたい。また、栄養にも全てつながるため、栄養士会とも今後協議をし、様々なところと協力して本事業を進めていきたいと思っている。

横山委員

I C Tでの情報発信の前に、介護保険法の国民の努力及び

義務などの情報を発信して、意識を高めていくことも必要ではないかと思う。私たちが取組を進めるだけでなく、受ける側にその気がなければならない。認知症で引きこもってしまっただけではいけないため、そうなる前の方をターゲットに情報発信してはどうかと思う。先ほど渡辺委員から話があったが、口腔ケアについては、薬が飲めなくて困っている人が多い。口腔ケアが必要で薬が飲めない人に大量の薬が出る場合もある。つぶせと言われても剤形の関係でつぶせず、飲めないという話になるため、薬剤師は非常に難儀している。薬を飲むという意味でも、ケアマネジャーを始め気が付いた人は、口腔ケアを積極的に勧めていただきたい。栄養についても、普段から食べているものがご飯だけ、そうめんだけという方もおり、朝 11 時くらいに起きて、朝の薬を飲まず、お昼の薬も飲まずに何も食べない、水も飲まない方もいる。そういう意味では、栄養の啓蒙も非常に大事だと思っている。

第 8 期介護保険事業計画 60 ページに今後の方針で共食とあるが、お年寄り用、子ども用、障がい者用の共食を別々に立ち上げることは難しいため、リンクさせることはできないか。そうすれば、予算もコンパクトで最大の効率化ができるのではないかと思う。また、様々な取組を行う上でも、地域のマンパワーが必要となる。啓蒙活動として、防災の無線で三条市の PR を行ったり、FM などのメディアを活用してアピールしたりするなどして、取組が空振りにならないようにする必要がある。

また、フレイルに関する取組は、高齢者に限らず、定年を迎える直前の人などに、食育などその他の取組とリンクしながら、PDCA サイクルを活用した取組を今から進めた方が良いと思う。

石附部会長

そのことについて、お考えがあれば、本計画に反映いただければと思う。

長谷川委員

認知症のガイドブックは、どの範囲まで配布されるのか。これを有効活用できる方策や、相談したい人に対する啓もう

は非常に大事だと思う。

事務局

長谷川委員からお話があった認知症暮らしのガイドブックの配布については、昨年度末に作成し、サービスセンター、公民館等、医療機関、歯科、薬局などに配布している。また、相談のときに、支援者側も活用できるように作り替えた。そのため、市民向けには難しい内容だと思っている。早期の相談や気づきにつながる入口は、ガイドブックを手にするよりも前の段階だと思うため、何かあればコーディネーターに相談できるよう、地域包括センターと地域の方たちとのつながりを深める取組を併せて行いたいと思っている。

5 その他

事務局

本年度の会議は2回の開催を予定している。2回目の会議については11月頃を予定しており、内容については、今年度の事業の取組状況の報告や、来年度の取組について御意見をいただきたいと思っている。

6 閉会あいさつ

郷センター長

(午後8時45分閉会)